

## スタンダード M4 メカボックス Ver.2 電子トリガー 取り扱い説明書

本製品はスタンダード M4 メカボックス Ver.2 に適合した製品となります。

その他メーカーのメカボックスについては、動作未確認のため組み込みを行った場合の作動不良等は全て自己責任となり保証対象外となります。

本製品は、上級者向けの商品となります。

ご使用前に必ず説明書をご覧ください、すべてご理解の上で取り付け作業を行ってください。

電動ガンに関する知識と正しい分解・組み立ての技術を要します。

本製品の取り付けには、メカボックスの分解等の作業が必要です。

作業に少しでも不安のある方は、必ずエアガンカスタムプロショップに依頼してください。

組み込み間違いや電動ガン自体の間違ったチューニング、誤った使用方法による故障は、

いかなる場合も保証対象外となりますので、ご注意ください。

### 仕様

スタンダード M4 メカボックス Ver.2 に対応

ブラシ付、ブラシレスモーターに対応

7.4V-11.1V の Lipo バッテリー対応 (Nicd、NiMH には対応していません)

0.0006Ω の超低内部抵抗 MOSFET

連続使用電流 100A

瞬時電流 400A/s

●光学センサーによる検知

●バッテリー低電圧保護 Lipo バッテリーの電圧が低いと Pi 音が連続して鳴り、発射停止。  
2CELL 6V、3CELL 9V カット致します。

●過電流保護 異常電流を検知して電源を遮断します。

●モーター異常保護 モーターが動かなくなり電源を遮断します。

●ギアボックス異常保護 ギアボックスが動かなくなり電源を遮断します。

### 特徴

・カード設定不要、ファストスイッチングモード

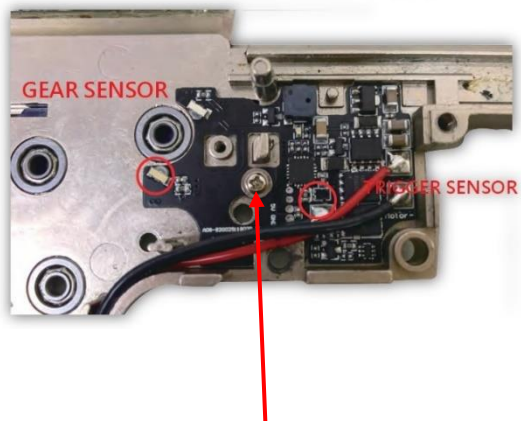
・3 連バースト・5 連バースト設定

・ポストフィックスモード (5 段階のプリコッキング設定)

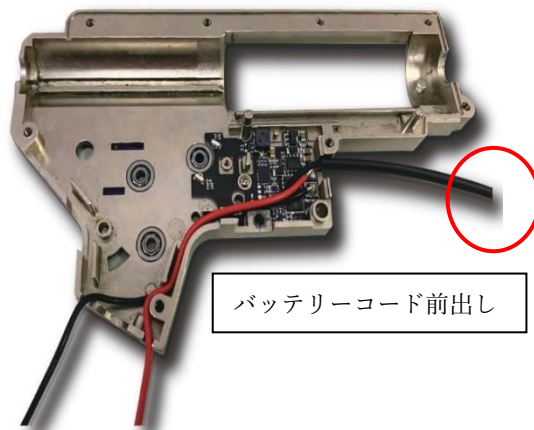
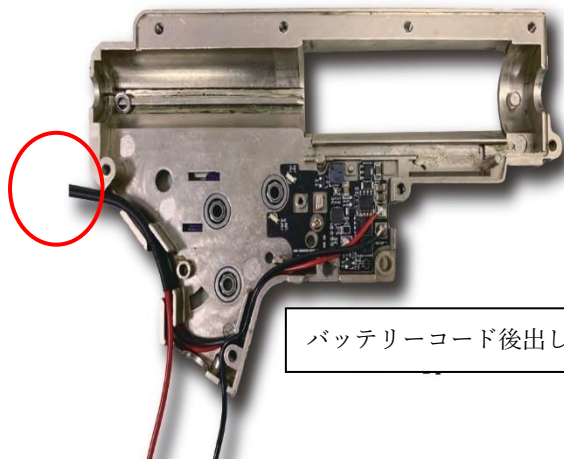
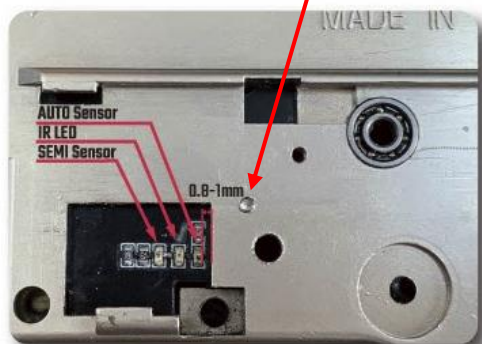
・バイナリトリガー設定

・プレコッキングスプリングリリース

各センサー部分に注意しながら、  
配線やギヤの取り付けを行います。



このビスが裏面に飛び出すと、セクターバーを押して、センサーとシールに隙間ができセンサーが反応しませんので、ビスの頭やセクターバーを削るなどの加工を行ってください。



### ●初期設定

セレクタースイッチを SAFE の位置にして、トリガーを引いたまま、バッテリーを接続します> 短い Pi 音が 2 回鳴ったら、トリガーを放します> 短い Pi 音と長い Pi 音が鳴ると設定完了です。  
次回以降は、バッテリーを接続すると短い Pi 音が鳴り、起動が完了したことを意味します。  
(初期設定は、最初の 1 回のみとなります。)

### ●フルオートから 3 連バースト/5 連バーストの切り替え設定

【フルオートのみ設定可能です】

バッテリーを接続し、短い Pi 音の後、セレクタースイッチを SAFE に切り替え、トリガーを引いたまま、3 秒以内にセレクタースイッチを AUTO 位置に切り替え、短い Pi 音が鳴ると>トリガーを放して 3 連/5 連バーストモードの完了です。

### ●3 連バースト⇄5 バーストへ切り替え

【フルオートのみ設定可能です】

上記の 3 連または 5 連バーストモードのまま(セレクタースイッチを AUTO モード)トリガーを約 3 秒引いたままにします。(この間に 1 回発射されます。)>Pi 音が鳴ります>トリガーを放して設定を完了。

逆の設定の場合も同様に、3 連または 5 連バーストモードのまま(セレクタースイッチを AUTO モード)トリガーを約 3 秒引いたままにします。(この間に 1 回発射されます。)>Pi 音が鳴ります>トリガーを放して設定を完了。

・長い Pi 音 → 3 連バースト    ・短い Pi 音 → 5 連バースト

### ●3 連バーストまたは 5 連バーストモードからフルオートへ切り替え

【フルオートのみ設定可能です】

バッテリーを接続し、短い Pi 音の後、セレクタースイッチを SAFE に切り替え、トリガーを引いたまま、3 秒以内にセレクタースイッチを AUTO 位置に切り替え、長い Pi 音が鳴ると>トリガーを放して設定完了。

### ●SEMIモードでのバイナリー・トリガーモードの設定

【SEMIモードでのみ設定可能です】

セレクタースイッチを SAFE に切り替え>トリガーを引いたまま>セレクタースイッチを 3 秒以内に SEMI 位置に切り替えます。>短い Pi 音が鳴ったらトリガーを放し、設定完了です。

元に戻す場合は、セレクタースイッチを SAFE に切り替え>トリガーを引いたまま>セレクタースイッチを 3 秒以内に SEMI 位置に切り替えます。>長い Pi 音が鳴ったらトリガーを放し、設定完了です。

### ●SEMIモードでのプリコッキングの設定

【SEMIモードでのみ設定可能です】

\*バイナリー・トリガーモードの時は設定できませんので、ノーマルモードに戻してください。

\*プリコッキング設定後、バイナリー・トリガーモードの設定は可能です。

\*固定位置は5段階あります。

SEMIモードでトリガーを引き1回発砲し>さらにトリガーを約3秒間引いたまま、短いPi音がなり1段階目の設定が完了します。

そのまま、トリガーを引き1回発砲し>さらにトリガーを約3秒間引いたまま、短いPi音が2回鳴り2段階目の設定が完了します。

そのまま、トリガーを引き1回発砲し>さらにトリガーを約3秒間引いたまま、短いPi音が3回鳴り3段階目の設定が完了します。

そのまま、トリガーを引き1回発砲し>さらにトリガーを約3秒間引いたまま、短いPi音が4回鳴り4段階目の設定が完了します。

そのまま、トリガーを引き1回発砲し>さらにトリガーを約3秒間引いたまま、短いPi音が5回鳴り5段階目の設定が完了します。

固定位置は、1→2→3→4→5→1→2・・・の順番に設定されます。

(固定位置はCPUに記録されます。SEMIモードとバイナリー・トリガーモードでは、射撃後に設定位置で停止します)

### ●プレコッキングスプリングリリース

この機能は、スプリングが高圧状態になるため、設定後のタイミングを設定し、ガンを閉じた後のスプリングの圧力を下げるためのものです。

セレクタースイッチをSAFEに切り替え、トリガーを5秒間押し、長いPi音が鳴ったらトリガーを放します。このとき、1回発射されピストン位置が元の位置に戻ります。

### ●工場出荷時の設定に戻す(デフォルト設定)

セレクタースイッチをSEMIの位置に切り替え、トリガーを引いたまま、バッテリーを接続します。長いPi音がなりトリガーを放し、短いPi音がなり設定完了です。

この機能を実行すると、すべての設定値が工場出荷時の初期値(トリガーストローク設定を含む)に戻ります。

### ●バーストモードと3連/5連バーストモードの新機能で、単発射撃も可能です。この機能により、A

UTO/SEMIモードを切り替えることなく、AUTOモードで単発射撃ができます。

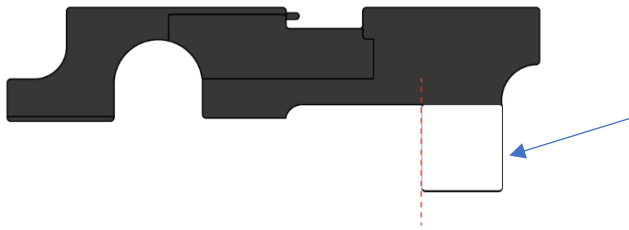
バーストモード(AUTO)で1/2トリガーを引くとシングルショットになり、奥までトリガーを引くとバースト発射します。(このモードは3連/5連バーストモードでも同じです)。

## 電子トリガー反射ステッカーの補足説明

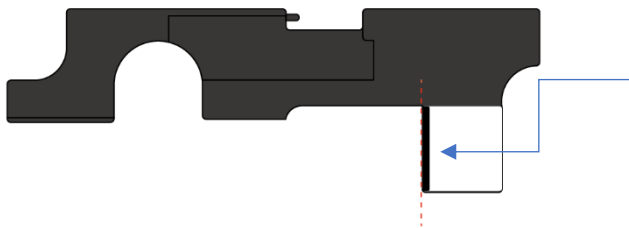
異なるブランドのギアボックスには異なるエラーがあるため、SAVE、SEMI、および AUTO の検出位置が正しく選択されていない可能性があります。次の手順は、方法を提供および調整します。



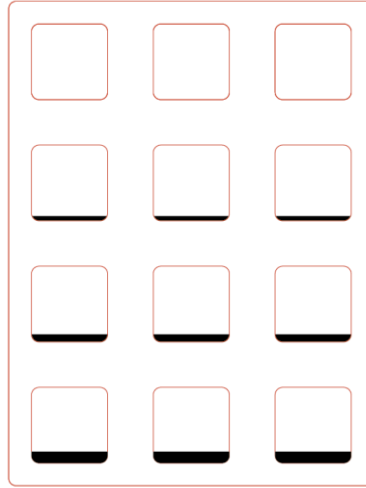
元にある銅シートを削除します（削除しないと、光センサーに影響を与える可能性があります）



アクセサリバッグ中の反射シールを貼ってください。  
（赤い点線の右側に貼り付けてください）



光検出位置が間違っている場合は、反射シールの点線に 0.5~1.5mm の黒い線のステッカーを使用してください。実際の状況に応じて、さまざまな線幅でステッカーをテストおよび調整してください。



上記のQRコードから、設定方法の動画が確認できます。

#### 保障規定

本製品を使用するのいかなる損害に関しても保障はいたしかねます。

製品の保証は、ご購入後2週間以内の初期不良のみとなります。

OPTION No.1

TEL:073-444-2409

〒641-0036 和歌山市西浜 1660-234